

令和元年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：国立大学法人千葉大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

- ① 千葉県内における幼稚園教諭二種免許状を有する教員の一種免許状の取得機会を拡大するため、幼稚園教諭免許状のための免許法認定講習を開設・実施する。
- ② 現職の幼稚園教諭が効率的に上位免許を取得できるよう、免許状更新講習や現職教員研修等にも対応可能な枠組みや内容を満たした免許法認定講習の開発を検討する。

(2) 事業概要

「令和元年度・幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業」を受託し、「幼児教育コンソーシアム千葉大学・植草学園大学」を構築した上で、1年間で上進が可能となるように全10科目（内、6科目で免許更新との相互認定が可能）の認定講習を申請し、実施認可を受けた。このうち、千葉県内での台風被害のために未実施となった「保育内容指導法Ⅱ（人間関係）」【10月12日・13日予定】を除き、全9科目を実施した。また、コロナウィルスの感染防止の観点から、予定していた第2回・検討委員会は対面での実施を中止し、各委員への郵送での報告、必要に応じて個別の質疑応答を行った。本事業に関わる活動の実施日程を以下に示す。

実施時期	活動の内容
4月	認定講習事業の採択通知【4月24日】
5月	第1回・開発チーム検討会議【5月12日】
	委託契約の凍結【5月31日】
6月～7月	認定講習事務局の設置【6月1日】
	認定講習の認定申請（実施予定の10科目を申請）
	免許状更新講習の認定申請（相互認定のために6科目を申請）
	第1回・検討委員会の実施【7月11日】
	「幼児教育コンソーシアム千葉大学・植草学園大学」設立【7月18日】
	認定講習・仮受付の開始【7月22日】
8月～12月	第2回・開発チーム検討会議【7月23日】
	「教育基礎論」の開講【8月29日・8月30日】
	「保育課程論」の開講【8月31日・9月1日】
	「保育内容指導法Ⅳ（言葉）」の開講【9月21日・9月22日】
	「教育相談」の開講【10月19日・10月20日】
	「発達・学習とその支援」の開講【10月26日・10月27日】
	「保育内容指導法Ⅲ（環境）」の開講【11月2日・11月3日】
	「幼児と造形表現」の開講【11月23日・11月24日】
	「保育内容指導法Ⅴ（表現・音楽）」の開講【11月30日・12月1日】
	「保育内容指導法Ⅰ（健康）」の開講【12月21日・12月22日】
相互認定科目（免許状更新講習）の実施報告	
1月～2月	第3回・開発チーム検討会議【1月29日】

	単位認定・修了証の発行
	認定講習の実施報告
3月	検討委員会の各委員への実施報告
	委託事業完了報告

(3) 成果（事業の実績の説明）

本事業の認定講習への申込数等 本年度の事業では全10科目の幼稚園教諭免許法認定講習を新たに開設し、このうち、6科目を免許状更新講習との相互認定が可能な科目として実施した。その結果、延べ240名の申込（内、延べ16名が相互認定）を受け、最終的に延べ215名が講習を受講した。各講習の内容と、各講習の申込者数・欠席者数・出席者数を下記の表に示す。なお、10月以降の欠席者については、「台風被害への対応」が主な理由であった。

講習日	講座名	申込数	欠席数	出席数
8月29日(木)・8月30日(金)	教育基礎論	11	0	11
8月31日(土)・9月1日(日)	保育課程論	20	0	20
9月21日(土)・9月22日(日)	保育内容指導法Ⅳ(言葉)*	27	0	27
10月12日(土)・10月13日(日)	保育内容指導法Ⅱ(人間関係)*	25	台風被害のため未実施	
10月19日(土)・10月20日(日)	教育相談	22	1	21
10月26日(土)・10月27日(日)	発達・学習とその支援	24	3	21
11月2日(土)・11月3日(日)	保育内容指導法Ⅲ(環境)*	21	1	20
11月23日(土)・11月24日(日)	幼児と造形表現*	36	2	34
11月30日(土)・12月1日(日)	保育内容指導法Ⅴ(表現・音楽)*	22	0	22
12月21日(土)・12月22日(日)	保育内容指導法Ⅰ(健康)*	32	2	30
全体		240	9	206

(*は免許状更新講習との相互認定が可能な科目)

本事業での受講者の単位取得状況 一人当たりの受講回数は平均4.77回で、約3割の受講者が7科目以上に参加し、単位を取得した。本事業での単位取得状況を下記の表に示す。今年度は、実施された全科目の単位(9単位)を取得した受講者が6名いたが、県内の台風被害により1科目が未実施となったため、本事業の認定講習のみを受講した教員の中での上進者はいなかった。

本事業での全9科目中での単位取得状況								
1単位	2単位	3単位	4単位	5単位	6単位	7単位	8単位	9単位
3人	3人	3人	8人	5人	4人	4人	3人	6人

本事業での講習内容に対する評価 本事業では、各科目において受講者による講習内容の評価を行った。受講者は、各科目の「講習の内容・方法」「受講による最新の知識・技能の習得の成果」「運営面（受講者数、会場、連絡等）」に関して、「4：よい（十分満足した・十分成果を得られた）」「3：だいたいよい（満足した・成果を得られた）」「2：あまり十分でない（あまり満足しなかった・あまり成果を得られなかった）」「1：不十分（満足しなかった・成果を得られなかった）」の4段階で評価を行った。

下記の表が示すように、いずれの科目に対しても受講者評価は全般的に高く、アンケート

講座名	講習の内容・方法	受講による最新の知識・技能の習得の成果	運営面
教育基礎論	3.55	3.82	3.55
保育課程論	4.00	3.90	3.90
保育内容指導法Ⅳ(言葉)	3.88	3.81	3.93
保育内容指導法Ⅱ(人間関係)	千葉県内の台風被害のため未実施		
教育相談	3.71	3.71	3.70
発達・学習とその支援	3.67	3.67	3.67
保育内容指導法Ⅲ(環境)	3.95	3.95	3.95
幼児と造形表現	3.94	3.88	3.88
保育内容指導法Ⅴ(表現・音楽)	3.91	3.82	3.82
保育内容指導法Ⅰ(健康)	3.90	3.87	3.93
全体	3.83	3.83	3.81

の自由記述でも来年度の開講希望が多く見られた。

本事業の成果のまとめと今後の課題 上記の点から、本年度の計画書に記載した「千葉県内の幼稚園教員の上進機会を拡大する」「免許状更新講習等にも対応可能な免許法認定講習の開発」という目的はおおむね達成されたと考えられる。

講習申請に関わる課題として、「認定講習の認可までの時間の短縮」「相互認定の際の手続きの簡略化」が挙げられる。また、実施・運営上の課題としては、「事業を継続する際の大学内での人材の確保」「災害・非常事態時の対応」「二種免許保有者に対する周知・広報の方法」がある。次年度以降はこの点についての対応策が求められる。

(4) 今後の課題・展望

今後、幼稚園教員の一種免許への上進をさらに拡大していくために、本事業の実施の過程や講習状況を踏まえると、「受講者にとっては2-3年で効率的に上進が可能になる認定講習事業」や「実施機関にとって持続可能な認定講習事業」を検討することが大きな課題となる。この点に関しては、本事業で実施した他大学との連携（「幼児教育コンソーシアム千葉大学・植草学園大学」の構築）や、「幼稚園教員養成を有する国立大学を中核とした認定講習事業

モデル」を考案していくことが、各都道府県での認定講習の実施拡大のためには重要となるであろう。